

くりまっこ

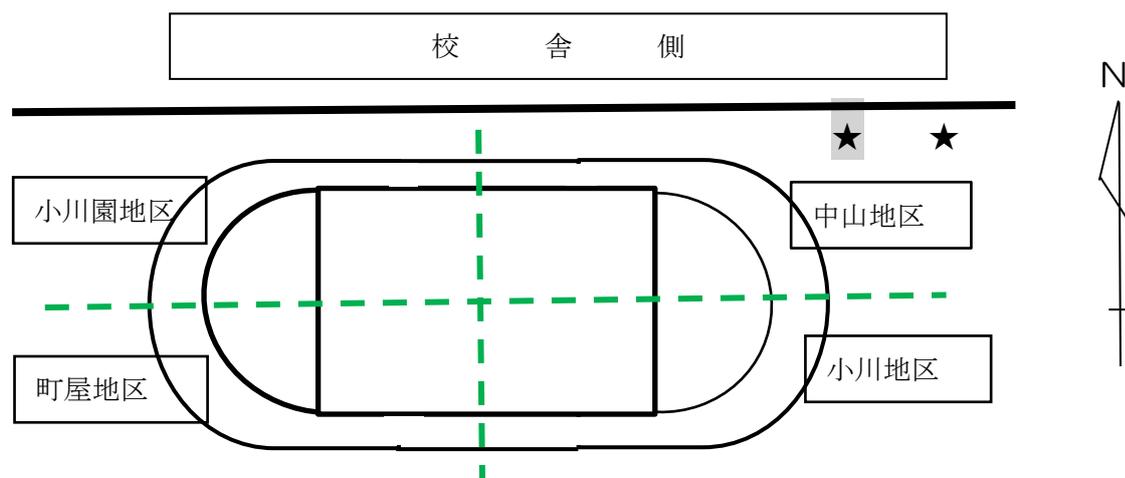
元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



PTA環境整備作業への参加、よろしくお願いします!

10月5日(土)の運動会に向け、子どもたちが気持ちよく活動ができるように、今年度も、PTA環境整備作業を行います。9月2日に配布した保護者宛文書にあるように、実施期間は、9月19日(木)~10月3日(木)までの間です。実施時間帯については、子どもたちが運動場で活動している時間帯を避け、朝は7時30分まで、夕方は16時から18時までとなっています。実施時間帯の中でご都合のつく時間に来ていただき、除草をお願いします。草抜き等の場所については、下図をご覧ください。なお、例年参加者にお配りしているお茶については、今年度は、本日9月17日(火)に、子どもたちに事前に渡してあります。お忙しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。

【場 所】栗真小学校の運動場 フィールド、コース、その他 草の繁っているところ



※刈り取った草は、東昇降口の階段の脇において乾燥させてください。★印

「自己肯定感を育む」研修会から学んだこと①

「自己肯定感の涵養にあたって考えたいこと」という研修会を受けて、学校でも、ご家庭でも、子どもたちの自己肯定感を育てていく際に、大切だなと思ったことを伝えていきたいと思います。

まずは、「大前提としての子どもたちへの対応」についてです。

★「自己肯定感」が低いとか、「自己肯定感」が感じられないということに対して、「そんなんじゃだめだ」というように、否定的な評価をしてはいけません。なぜなら、「自己肯定感」が低いという人の中には、自らの自己肯定感の低さから、自分自身で「自己肯定感

低いのはだめだ」と考えていることがあるからです。それなのに、自分以外の人から否定的に評価されることによって、追い打ちをかけられます。このことによって、ますます「自己肯定感」が低くなっていくのです。

- ★すべての自己肯定感の低さが、そうだというわけではありませんが、「きちんとやろう」「高いレベルでものごとをやり遂げよう」「現状を何とか改善しよう」という意識のために、現在の自己肯定感が下がっているということもあります。そのため、「自己肯定感の低さ」の良さも認めつつ、自己肯定感を育てていくことが大切です。加えて、人には個人差があるということを常に意識して、実際に働きかけるときには、個人差に配慮しながら対応してほしいと思います。
- ★大人に対してもそうですが、子どもたちに関わっていく中で大切にしたい最も重要となるポイントは、「ポジティブな雰囲気を作る」中で働きかけていくということです。周りの雰囲気が「ネガティブ」な場合と、「ポジティブ」な場合とであれば、やはり「ポジティブな雰囲気」の中での働きかけの方が、効果がさらに大きくなるはずです。

次は、「基本的信頼感」についてです。

- ★基本的信頼感とは、「周りの他者は自分を受け入れてくれ、自分自身も受け入れられるに値する存在である」という感覚です。このような感覚を持つことによって、新しい状況など、不安に感じるような状況にも自信をもって関わっていくことができるのです。
- ★この基本的信頼感は、特に年齢が小さい段階でより重要になります。ただ、年齢が大きくなっても、発達段階の最初の課題であるため、これが獲得されていないと後々まで響くことになるものです。
- ★この基本的信頼感は愛着と深い関わりがあります。愛着とは、特定の他者とくっつくことです。愛情のある特定の他者と「くっつく」と考えると、分かりやすいですね。この愛着において、安定的な愛着関係を築けると、不安なときなどに、愛着対象にくっつくことで回復し、愛着対象から離れて探索行動を進めていくことができるのです。
- ★一方で、愛着対象から拒否されることが多かったりすると、不安なときなどに逆に愛着対象から離れたりします。また、受け入れられたり拒否されたりとムラがあると、次は受け入れられるか分からないという思いから、愛着対象に感情をぶついたり、執着して離れないといった様子などが見られるのです。親子関係でよく見られるものです。
- ★こういった愛着関係が、だんだん内在化され、愛着対象が目の前にいない場面でも感じられるようになり、さらに、最初の愛着対象から、別の他者へと広げていったものが、基本的信頼感と考えられるのです。
- ★基本的信頼感につながる愛着関係で最も重要なものが、親子関係になります。もちろん、それ以外の他者も愛着対象としての役割を果たすことはできますが、やはり親子関係が最も大切だと言えます。こういった愛着形成がうまくいかなかったものとして、愛着障害といったものが取り上げられるのです。